

平成 30 年度松本市子どもの権利に関するアンケートの実施（案）について

1 調査目的

- (1) 子どもたちの自己認識や取り巻く環境等を把握する。
- (2) 基本的に過去のアンケート（H25, H27）と同様の設問にし、変動を把握する。
- (3) 第 2 期推進計画の策定における基礎資料とする。

2 調査項目

調査項目は、概ね次のとおりとします。

(1) 子ども向けアンケート

- ア 子どもの自己認識（自己肯定感、意欲）に関すること
- イ 子どもの気持ち（自己肯定感）等に関すること
- ウ 市子どもの権利条例に関すること
- エ 子どもの悩みやその対応（相談等）に関すること
- オ 子どもの意見表明や居場所に関すること
- カ 子どもの将来に関すること

(2) 保護者向けアンケート

- ア 市子どもの権利条例に関すること
- イ 子どもの健全育成に関すること
- ウ 子どもの居場所や意見表明に関すること

3 調査対象

下記の児童・生徒約 2, 520 人とその保護者

(1) 小学校 5 年生 約 820 人

全小学校 30 校（市立 28 校、国立 1 校、私立 1 校）対象に 1 クラス

(2) 中学校 2 年生 約 700 人

全中学校 23 校（市立 20 校、国立 1 校、私立 2 校）対象に 1 クラス

(3) 高等学校 2 年生 約 1, 000 人

高等学校 13 校（県立 7 校、私立 6 校）対象に 1 クラス

ア 県立高校 7 校

（梓川、松本県ヶ丘、松本蟻ヶ崎、松本工業、松本深志、松本美須ヶ丘、筑摩）

イ 私立高校 6 校

（エクセラン、松本国際、松商学園、松本第一、松本秀峰、信濃むつみ）

(4) 特別支援を必要とする子ども

松本盲学校、松本ろう学校、松本養護学校、寿台養護学校、はぐるっぽ、中間教室他
市日本語支援センターに通う、小学 5 年生、中学 2 年生、高校 1・2 年生の該当者

4 調査、回収、集計方法

- (1) 各学校の担任を通じて、対象の児童・生徒に調査票と封入用封筒を配布します。
- (2) 児童・生徒を通じて配付する調査票に保護者の回答用紙を添付します。
- (3) 児童・生徒及び保護者が記入した調査票は、同封した封入用封筒に封入し、担任へ提出します。
- (4) 学校で調査票の入った封入用封筒をまとめ、アンケート回収袋に入れ、1月末までにこども育成課へ送付いただきます。高等学校へは、こども育成課職員が受け取りに行きます。
- (5) アンケートは無記名とします。
- (6) 回収したアンケートは、委託業者が集計します。

5 調査期間

平成30年11月下旬～12月20日

6 調査内容

別紙のとおり

7 今後のスケジュール

- (1) 子どもの権利アンケートの検討について
 - ア 第4回子どもにやさしいまちづくり委員会 8月7日
 - イ 推進庁内調整会議幹事会 8月下旬
 - ウ 第5回子どもにやさしいまちづくり委員会 9月下旬
- (2) アンケート調査実施について
 - ア アンケート調査の委託業者決定 8月中
 - イ 小中学校校長会、高等学校校長会での依頼 9月中
 - ウ アンケート配布（事務局・委託業者） 11月下旬
 - エ アンケート回収（事務局・委託業者） 12月20日（※冬休み前に）
 - オ アンケート集計（委託業者） 1月中
 - カ アンケート報告書作成・印刷（委託業者） 2月中

1 子どもアンケート項目

(調査内容)

No.	内 容
1	あなたの性別を教えてください。
2	あなたの学年を教えてください。
3	あなたの住んでいるところを教えてください。
4	あなたは、自分のことが好きですか。
5	あなたは、自分には良いところがあると思いますか。
6	あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。
7	あなたが、「今打ちこんでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。
8	うまくいくか分からないことにもいっしょうけんめいに取り組めますか。【新設】
9	松本市子どもの権利に関する条例の名前を知っていますか。【修正】
10	松本市子どもの権利に関する条例の内容を知っていますか。【修正】
11	どのような方法で知りましたか。
12	条例ができて良かったと思いますか。
13	それは、どんなところですか。自由に書いてください。
14	あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。
15	あなたは、これまで友だちや先輩から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。
16	困ったり、つらいとき、だれに相談しますか。
17	「こころの鈴」を知っていますか。
18	あなたは、困ったこと、つらいことを子どもの権利相談室「こころの鈴」に相談したいと思いますか。
19	「こころの鈴」にどんな方法で相談したいと思いますか。
20	「こころの鈴」に相談する時に利用したい曜日、時間帯を教えてください。
21	家庭で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。
22	聞いてもらった内容は何ですか。
23	学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。
24	聞いてもらった内容は何ですか。
25	地域で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。
26	聞いてもらった内容は何ですか。
27	地域の中で遊んだりスポーツをしたり、安心してやりたいことができる場所がありますか。
28	安心してやりたいことができる場所は、どこですか？【新設】
29	あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。
30	あなたにとってホッとできる場所はどこですか。【修正】
31	あなたは、将来、就きたい仕事はありますか。
32	それは、どんな仕事ですか。【修正】
33	そのためにやっていることはなんですか。
34	大人になって住みたいまちはどこですか。 それは、どうしてですか。

2 保護者アンケート項目

(調査内容)

No.	内 容
1	松本市子どもの権利に関する条例の名前を知っていますか。【修正】
2	松本市子どもの権利に関する条例の内容を知っていますか。【修正】
3	条例ができて良かったと思いますか
4	それはどんなところですか
5	子どもさんにとってどんな場所が充実すればいいと思いますか
6	子どもさんが健やかに育つために必要だと思うものはありますか
7	次の事柄を決めるときなどに、お子さんが、自分の意見を言ったり参加することについてどのように思いますか (1)家庭での大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと (2)学校の行事や部活動の企画運営に参加すること (3)学校の決まりごとに意見を言うこと (4)地域の行事の企画運営に参加すること (5)松本市政に意見を言うこと

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H25年度			H27年度			中間報告（検証）		H30年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問1	あなたの性別(せいべつ)を教えてください。		問1	あなたの性別(せいべつ)を教えてください。			問1	あなたの性別(せいべつ)を教えてください。		
	1 男 2 女			1 男 2 女				1 男 2 女		
問2	あなたの学年(がくねん)を教えてください。		問2	あなたの学年(がくねん)を教えてください。			問2	あなたの学年(がくねん)を教えてください。		
	1 小学校5年生 2 中学校2年生 3 高校1年生 4 高校2年生			1 小学校5年生 2 中学校2年生 3 高校1年生 4 高校2年生				1 小学校5年生 2 中学校2年生 3 高校1年生 4 高校2年生		
			問3	あなたの住んでいるところを教えてください。			問3	あなたの住んでいるところを教えてください。		【参考データ】 H26子ども・若者白書（内閣府）から、自己認識の調査項目等を抜粋 ※調査対象：満13歳から満29歳までの男女 ※回答数：1,175名
				1 松本市(まつもとし) 2 松本市以外(いがい)（塩尻市(しおじりし)、安曇野市(あづみのし)、東筑摩郡(ひがしちくまぐん)、その他(ほか))				1 松本市(まつもとし) 2 松本市以外(いがい)		
問3	あなたは、自分のことが好(す)きですか。		問4	あなたは、自分のことが好(す)きですか。			問4	あなたは、自分のことが好(す)きですか。		【設問・結果】自分自身に満足している（45.8%） ※「私は、自分自身に満足している」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計
	1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	・自分のことが「好き、だいたい好き」な自己肯定感の高い子どもは55.5%。 ・年齢が上がるにつれて、自分のことが「好き、だいたい好き」な子どもの割合が減少する傾向がある。		1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	・自分のことが「好き」「だいたい好き」な自己肯定感の高い子どもは、62.2%。前回の調査の55.5%より高くなった。 ・年齢が上がるにつれて、自分のことが「好き」「だいたい好き」な子どもの割合が減少する傾向がある。			1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない		
問4	あなたは、自分には良いところがあると思いますか。		問5	あなたは、自分には良いところがあると思いますか。			問5	あなたは、自分には良いところがあると思いますか。		【設問・結果】自分には長所がある（68.9%） ※「自分には長所があると感じている」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計
	1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	・自分には「良いところがある、だいたいある」と思う子どもは63.7%。 ・年齢が上がるにつれて、自分には「良いところがある、だいたいある」と思う子どもの割合が減少する傾向がある。 ・自己肯定感の高い子どもは「自分には良いところがある」と考える傾向がある。		1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	・自分には「良いところがある」「だいたいある」と思う子どもは、69.3%。前回調査の、63.7%より高くなった。 ・年齢が上がるにつれて、自分には「良いところがある、だいたいある」と思う子どもの割合が減少する傾向がある。 ・自己肯定感の高い子どもは「自分には良いところがある」と考える傾向があり、自己肯定感と強く関係することが窺える。			1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない		
問5	あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。		問6	あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。			問6	あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。		
	1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	・まわりの人から「大切にされている、だいたいされている」と思う子どもは78%。 ・年齢が上がるにつれて、まわりの人から「大切にされている、だいされている」と思う子どもの割合が減少する傾向がある。 ・自己肯定感の高い子どもは「まわりの人から大切にされている」と考える傾向がある。		1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	・自分は「まわりの人から大切にされている」「だいたい大切にされている」と思う子どもは、82.7%。前回調査の、78.0%より高くなった。 ・自己肯定感の高い子どもは、自分は「まわりの人から大切にされている、だいたい大切にされている」と考える傾向があり、自己肯定感と強く関係することが窺える。			1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない		

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H2 5 年度			H2 7 年度			中間報告（検証）		H 3 0 年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問 6	あなたが、「今打(う)ちこんでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。 あてはまるものに3つまで○をつけてください。		問 7	あなたが、「今打(う)ちこんでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。 あてはまるものに3つまで○をつけてください。			問 7	あなたが、「今打(う)ちこんでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。 あてはまるものに3つまで○をつけてください。		
	1 学校の勉強(べんきょう) 2 学校のクラブ活動(かつどう)・部活動 3 学校の児童会(じどうかい)・生徒会(せいとかい)活動 4 学校の運動会(うんどうかい)・体育(たいいく)大会(たいかい)などの運動行事(ぎょうじ) 5 学校の発表会(はっぴょうかい)・文化(ぶんか)祭(さい)などの文化行事 6 住んでいる地域(ちいき)のスポーツ活動(サッカー・野球(やきゅう)・剣道(けんどう)など) 7 おけいこ・習(なら)いごと(水泳・ピアノなどの楽器(がっき)・習字(しゅうじ)・絵画(かいが)・バレエなど) 8 塾(じゅく)の勉強 9 ボランティア活動 10 地域の子ども会活動 11 読書(どくしょ) 12 友だちとの遊びや活動 13 パソコンやインターネットなど 14 一人でするゲーム 15 家の手伝い 16 今打ちこんでいること、やりがいを感じていることはない 17 その他	・今打ち込んでいること、やりがいを感じていることとして、「学校のクラブ活動、部活動」「友だちとの遊び」「学校の勉強」の順に回答する子どもが多い。 ・小学生は、「おけいこ、習いごと」の割合が一番高く、中学生以上になると「部活動」の占める割合が増える。 ・自己肯定感が高い子どもは、「学校の勉強」「学校の児童会・生徒会活動」「おけいこ・習いごと」に比較的に多く回答している。		1 学校の勉強(べんきょう) 2 学校のクラブ活動(かつどう)・部活動 3 学校の児童会(じどうかい)・生徒会(せいとかい)活動 4 学校の運動会(うんどうかい)・体育(たいいく)大会(たいかい)などの運動行事(ぎょうじ) 5 学校の発表会(はっぴょうかい)・文化(ぶんか)祭(さい)などの文化行事 6 住んでいる地域(ちいき)のスポーツ活動(サッカー・野球(やきゅう)・剣道(けんどう)など) 7 おけいこ・習(なら)いごと(水泳・ピアノなどの楽器(がっき)・習字(しゅうじ)・絵画(かいが)・バレエなど) 8 塾(じゅく)の勉強 9 ボランティア活動 10 地域の子ども会活動 11 読書(どくしょ) 12 友だちとの遊びや活動 13 パソコンやインターネットなど 14 一人でするゲーム 15 家の手伝い 16 今打ちこんでいること、やりがいを感じていることはない	・「学校のクラブ活動、部活動」「学校の勉強」「友だちとの遊び」の順に回答する子どもが多い。 ・小学生は、「おけいこ、習いごと」の割合が1 4． 2 %と一番高く、「学校のクラブ活動、部活動」の割合は、5． 8 %と低い。 ・中学生、高校生になると「学校のクラブ活動、部活動」の割合が、2 0 %以上に増え、一番高くなるのは、部活動が本格化するためと推察される。 ・小学生、中学生は「学校の児童会・生徒会活動」の割合が1 0 %前後を占めているが、高校生になると、「学校の児童会・生徒会活動」の割合は2． 5 %と低くなる。 ・小学生、中学生は「一人でするゲーム」の割合が7 %前後だが、高校生になると、「一人でするゲーム」の割合が1 1． 4 %と高くなる。 ・自己肯定感の低い子どもほど、やりがいを感じていることは「⑩ ない」と答える割合が高く、やりがいを感じるものの有無が自己肯定感にも関係している様子が窺える。			1 学校の勉強(べんきょう) 2 学校のクラブ活動(かつどう)・部活動 3 学校の児童会(じどうかい)・生徒会(せいとかい)活動 4 学校の運動会(うんどうかい)・体育(たいいく)大会(たいかい)などの運動行事(ぎょうじ) 5 学校の発表会(はっぴょうかい)・文化(ぶんか)祭(さい)などの文化行事 6 住んでいる地域(ちいき)のスポーツ活動(サッカー・野球(やきゅう)・剣道(けんどう)など) 7 おけいこ・習(なら)いごと(水泳・ピアノなどの楽器(がっき)・習字(しゅうじ)・絵画(かいが)・バレエなど) 8 塾(じゅく)の勉強 9 ボランティア活動 10 地域の子ども会活動 11 読書(どくしょ) 12 友だちとの遊びや活動 13 パソコンやインターネットなど 14 一人でするゲーム 15 家の手伝い 16 今打ちこんでいること、やりがいを感じていることはない		
							問 8	うまくいくか分からないことにもいっしょうけんめいに取り組めますか。		
								1 そう思う 2 どちらかというと思う 3 どちらかというと思わない 4 そう思わない	困難に立ち向かう意欲（チャレンジ精神）を調査し、自己肯定感との関連を検証したい。	【設問・結果】うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む 5 2． 2 % ※「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H25年度			H27年度			中間報告（検証）		H30年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問7	松本市は、「松本市子どもの権利に関する条例」（条例とは、松本市の子どもの権利を守るための約束(やくそく)です。）をつくりました。あなたは、この条例を知(し)っていますか。		問8	松本市は、「松本市子どもの権利に関する条例」（条例とは、松本市の子どもの権利を守るための約束(やくそく)です。）をつくりました。あなたは、この条例を知(し)っていますか。			問9	松本市は、「松本市子どもの権利に関する条例」（条例とは、松本市の子どもの権利を守るための約束(やくそく)です。）をつくりました。あなたは、この条例の 名前（なまえ）を知(し)っ ていますか。		
	1 内容(ないよう)まで知っている 2 名前(なまえ)だけ知っている 3 知らない →問11へ	・条例の「内容を知っている、名前だけを知っている」子どもは44. 1％		1 内容(ないよう)まで知っている 2 名前(なまえ)だけ知っている 3 知らない →問12へ	・条例の「内容まで知っている」子どもは全体で2. 9％と低い割合となっており、前回調査の23. 7％を下回ったが、「名前だけ知っている」子どもは全体で20. 7％であり、前回調査の20. 4％と大きな差異は見受けられなかった。 ・年齢が上がるにつれて「知っている」と答える子どもの割合は減少する傾向にある。 ・以上から、条例の周知、特に内容の周知について取り組む必要がある。	・条例を知らない子どもが多い（認知度が上がっていない）。 ・認知度は、内容まで知っている2.9%、名前だけ知っている20.7%（平成27年度アンケート）と低調、数値目標75%（平成30年：内容まで知っている40%、名前だけ知っている35%）を目指したい。		1 名前(なまえ)を知っている、聞いたことがある 2 知らない →問14へ	・知名度と認知度が混在した設問となっていたため、知名度、認知度に分けて調査したい。	
							問10	あなたは、この条例の内容（ないよう）を知（し）っていますか。		
								1 よく知っている 2 まあまあ知っている 3 少し知っている 4 あまり知らない 5 まったく知らない	・認知度に関する選択肢を設定することで、認知度合い（レベル）を把握したい。	
問8	どのような方法(ほうほう)で知りましたか。 あてはまるものに3つまで○をつけてください。		問9	どのような方法(ほうほう)で知りましたか。 あてはまるものに3つまで○をつけてください。			問11	どのような方法(ほうほう)で知りましたか。 あてはまるものに3つまで○をつけてください。		
	1 学校の授業(じゅぎょう)、先生の話 2 小・中学生用学習パンフレット 3 広報(こうほう)まつもと 4 新聞(しんぶん)・テレビ 5 家族(かぞく) 6 友だち 7 その他（地域の人、コーチなど）	・小学生の半数は、条例の内容を知っていて、学校の授業、学習パンフレットで知った子どもが多い。		1 学校の授業(じゅぎょう)、先生の話 2 小・中学生用学習パンフレット 3 広報(こうほう)まつもと 4 新聞(しんぶん)・テレビ 5 家族(かぞく) 6 友だち 7 その他（地域の人、コーチなど）	・条例について知った方法は、「学校の授業、先生の話」「新聞・テレビ」「小中学校用学習パンフレット」の順に多く、小学生の多くは、「学校の授業、先生の話」で条例について知ったと回答している。 ・条例の「内容まで知っている」と答えた子どもの半数以上が、「学校の授業、先生の話」により知ったと回答しており、次いで「小中学校用学習パンフレット」と回答する割合が大きいことから、条例の内容については、学校での知る機会の確保が重要である。 ・以上により、学校が子どもたちへの条例周知の場となっていることから、学校で取扱ってもらふ機会の確保や、学校で取扱ってもらふにあたって、子どもたちにも分かりやすい周知パンフレットの作成を進めることが有用である。			1 学校の授業(じゅぎょう)、先生の話 2 小・中学生用学習パンフレット 3 広報(こうほう)まつもと 4 新聞(しんぶん)・テレビ 5 家族(かぞく) 6 友だち 7 その他（地域の人、コーチなど）		
問9	条例ができて良かったと思いますか。		問10				問12	条例ができて良かったと思いますか。		
	1 思う 2 思わない 3 わからない	・条例ができて良かった「思う」は33%、「思わない」は2.4%		1 思う 2 思わない 3 わからない →問12へ	・条例が「できて良かった」と回答する子どもは33％なのに対し、半数以上の子どもは、条例ができて良かったかどうか「わからない」と回答しており、前回調査との大きな差異は見受けられなかった。 ・年齢が上がるにつれて、条例が「できて良かった」と回答する子どもの割合は減少している。	・条例を知らないが故に、条例ができて良かったかの問いに対しても「わからない」の回答が多い。		1 思う 2 思わない 3 わからない →問14へ		

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H2 5 年度			H2 7 年度			中間報告（検証）		H3 0 年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問10	問9で「1 思う」「2 思わない」と答えた人にお聞きします。		問11	問10で「1 思う」「2 思わない」と答えた人にお聞きします。			問13	問12で「1 思う」「2 思わない」と答えた人にお聞きします。		
	それは、どんなところですか。自由(じゆう)に書いてください。			それは、どんなところですか。自由(じゆう)に書いてください。				それは、どんなところですか。自由(じゆう)に書いてください。		
問11	あなたは、これまで大人(おとな)から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。		問12	あなたは、これまで大人(おとな)から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。			問14	あなたは、これまで大人(おとな)から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。		
	1 親(おや) (保護者(ほごしゃ)) から、たたかれる、なぐられる 2 親 (保護者) から、心を傷(きず)つけられる言葉を言われる 3 親 (保護者) から、自分をほったらかしにされる 4 学校(がっこう)や施設(しせつ) (児童館・児童センターなど) の先生や職員(しょくいん)から、たたかれる、なぐられる 5 学校や施設 (児童館・児童センターなど) の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われる 6 塾(じゅく)や習(なら)いごとの先生、スポーツクラブの監督(かんとく)などから、たたかれる、なぐられる 7 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督などから、心を傷つけられる言葉を言われる 8 知らない大人に、声をかけられる、追(お)いかけられる 9 ない 10 その他 (1～8 以外に大人からされて「いやな思い」をしたことがある場合、だれからどんなことをされたことがいやだったか、書いてください。)	・ 大人から「いやな思い」をしたことがない子どもは6 4. 0 %。 ・ 自己肯定感の低い子どもは、大人から「いやな思い」をしたことがある割合が高くなっている。		1 親(おや) (保護者(ほごしゃ)) から、たたかれる、なぐられる 2 親 (保護者) から、心を傷(きず)つけられる言葉を言われる 3 親 (保護者) から、自分をほったらかしにされる 4 学校(がっこう)や施設(しせつ) (児童館・児童センターなど) の先生や職員(しょくいん)から、たたかれる、なぐられる 5 学校や施設 (児童館・児童センターなど) の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われる 6 塾(じゅく)や習(なら)いごとの先生、スポーツクラブの監督(かんとく)などから、たたかれる、なぐられる 7 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督などから、心を傷つけられる言葉を言われる 8 知らない大人に、声をかけられる、追(お)いかけられる 9 ない 10 その他 (1～8 以外に大人からされて「いやな思い」をしたことがある場合、だれからどんなことをされたことがいやだったか、書いてください。)	・ 大人からされて「いやな思い」をしたことについて、「⑨ ない」「② 親 (保護者) から、心を傷つけられる言葉を言われる」「⑤ 学校や施設 (児童館・児童センターなど) の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われる」の順に回答数が多くなっている。 ・ 大人から「いやな思い」をしたことがない子どもは、全体で6 8. 1 %/ で、最も多くなっている。 ・ 年齢が上がるほど、大人からされて「いやな思い」をしたことが「⑨ ない」と答える割合が減り、なんらかのかたちで「いやな思い」をしたことがあるとお答える割合が高くなる。 ・ 自己肯定感の低い子どもほど、大人からされて「いやな思い」をしたことがあると答える割合が高くなり、なんらかのかたちで「いやな思い」をしたことがあると子どもの割合が高くなっている。		1 親(おや) (保護者(ほごしゃ)) から、たたかれる、なぐられる 2 親 (保護者) から、心を傷(きず)つけられる言葉を言われる 3 親 (保護者) から、自分をほったらかしにされる 4 学校(がっこう)や施設(しせつ) (児童館・児童センターなど) の先生や職員(しょくいん)から、たたかれる、なぐられる 5 学校や施設 (児童館・児童センターなど) の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われる 6 塾(じゅく)や習(なら)いごとの先生、スポーツクラブの監督(かんとく)などから、たたかれる、なぐられる 7 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督などから、心を傷つけられる言葉を言われる 8 知らない大人に、声をかけられる、追(お)いかけられる 9 ない 10 その他 (1～8 以外に大人からされて「いやな思い」をしたことがある場合、だれからどんなことをされたことがいやだったか、書いてください。)			

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H2 5 年度			H2 7 年度			中間報告（検証）		H 3 0 年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問12	あなたは、これまで友だちや先輩（せんばい）から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。		問13	あなたは、これまで友だちや先輩（せんばい）から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。			問15	あなたは、これまで友だちや先輩（せんばい）から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。		
	1 友だちや先輩などから、無視(むし)される 2 友だちや先輩などから、暴力(ぼうりょく)をふるわれる 3 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる 4 友だちや先輩などから、物・金をとられる 5 友だちや先輩などから、はずかしいことをむりやりさせられる 6 ない 7 その他（くわしく書いてください。）	・友だちや先輩から「いやな思い」をしたことがない子どもは6 0． 1％。 ・自己肯定感の低い子どもは、友だちや先輩から「いやな思い」をしたことがある割合が高くなっている。		1 友だちや先輩などから、無視(むし)される 2 友だちや先輩などから、暴力(ぼうりょく)をふるわれる 3 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる 4 友だちや先輩などから、物・金をとられる 5 友だちや先輩などから、はずかしいことをむりやりさせられる 6 ない 7 その他（くわしく書いてください。）	・友だちや先輩からされて「いやな思い」をしたことについて、「③ 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる」「⑥ない」「② 友だちや先輩などから、暴力をふるわれる」の順に回答数が多くなっている。 ・前問の「大人」からされたいやなことに比べ、「友だちや先輩」といった子どもたちにとって年齢の近い存在から「いやな思い」をしたと回答する子どもは多い。 ・友だちや先輩からされて「いやな思い」をしたことについては、自己肯定感の高低に関わらず、「③ 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる」と回答する子どもの占める割合が最も高くなっている。 ・自己肯定感の低い子どもほど、友だちや先輩からされて「いやな思い」をしたことがあると答える割合が高くなり、なんらかのかたちで「いやな思い」をしたことがあると子どもの割合が高くなっている。			1 友だちや先輩などから、無視(むし)される 2 友だちや先輩などから、暴力(ぼうりょく)をふるわれる 3 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる 4 友だちや先輩などから、物・金をとられる 5 友だちや先輩などから、はずかしいことをむりやりさせられる 6 ない 7 その他（くわしく書いてください。）		
問13	困(こま)ったり、つらいとき、だれに相談(そうだん)しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。		問14	困(こま)ったり、つらいとき、だれに相談(そうだん)しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。			問16	困(こま)ったり、つらいとき、だれに相談(そうだん)しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。		
	1 親(おや) 2 兄弟(きょうだい)姉妹(しまい) 3 祖父母(そふぼ) 4 友だち 5 担任(たんにん)の先生 6 保健室(ほけんしつ)の先生 7 クラブ・部活動(ぶかつどう)の先生 8 スクールカウンセラー、相談(そうだん)学級(がっきゅう)の先生 9 塾(じゅく)、習(なら)いごとの先生 10 スポーツ団体などクラブチームの監督(かんとく)・コーチ 11 子どもの権利相談室の相談員(そうだんいん) 12 その他 13 だれにも相談しない	・困ったり、つらいときの相談相手として、親(3 1． 9％)、友だち(3 1． 9％)を回答した子どもが多い。だれにも相談しない子どもが1 9． 7％いる。		1 親(おや) 2 兄弟(きょうだい)姉妹(しまい) 3 祖父母(そふぼ) 4 友だち 5 担任(たんにん)の先生 6 保健室(ほけんしつ)の先生 7 クラブ・部活動(ぶかつどう)の先生 8 スクールカウンセラー、相談(そうだん)学級(がっきゅう)の先生 9 塾(じゅく)、習(なら)いごとの先生 10 スポーツ団体などクラブチームの監督(かんとく)・コーチ 11 子どもの権利相談室の相談員(そうだんいん) 12 その他 13 だれにも相談しない	・困ったり、つらいときの相談相手として、「① 親」や「④ 友だち」と回答した子どもが多い。 ・「⑬ 誰にも相談しない」と回答した子どもは、4 番目に多く、全体に占める割合は、 9％になる。 ・自己肯定感の低い子どもほど、「⑬ 誰にも相談しない」と回答する割合が高くなり、悩みを一人で抱え込んでいることが窺える。			1 親(おや) 2 兄弟(きょうだい)姉妹(しまい) 3 祖父母(そふぼ) 4 友だち 5 担任(たんにん)の先生 6 保健室(ほけんしつ)の先生 7 クラブ・部活動(ぶかつどう)の先生 8 スクールカウンセラー、相談(そうだん)学級(がっきゅう)の先生 9 塾(じゅく)、習(なら)いごとの先生 10 スポーツ団体などクラブチームの監督(かんとく)・コーチ 11 子どもの権利相談室の相談員(そうだんいん) 12 その他 13 だれにも相談しない		

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H25年度			H27年度			中間報告（検証）		H30年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問14	松本市は、子どもの困ったこと、つらいことなどの相談を受けて、子どもの気持ちを大切に助言（じょげん）や支援（しえん）を行う子どもの権利相談室「こころの鈴」をつくりました。 あなたは、「こころの鈴」を知っていますか。		問15	松本市は、子どもの困ったこと、つらいことなどの相談を受けて、子どもの気持ちを大切に助言（じょげん）や支援（しえん）を行う子どもの権利相談室「こころの鈴」をつくりました。 あなたは、「こころの鈴」を知っていますか。			問17	あなたは、子どもの権利相談室「こころの鈴」を知っていますか。 ※松本市は、子どもの困ったこと、つらいことなどの相談を受けて、子どもの気持ちを大切に助言（じょげん）や支援（しえん）を行う子どもの権利相談室「こころの鈴」をつくりました。		
	1 知っている 2 知らない	・こころの鈴を「知っている」が19.1％		1 知っている 2 知らない	・「こころの鈴」について、知っている子どもは、15.7％で、前回調査の19.1％を下回ったが、大きな差異は見受けられなかった。 ・年齢が上がるにつれて、「こころの鈴」を知っている子どもの割合は、減少する傾向にある。	・「こころの鈴」を知らない子どもが8割超 ・認知度は15.7％（平成27年度アンケート）と低調、数値目標80％（平成30年）を目指したい。		1 知っている 2 知らない		
問15	あなたは、困ったこと、つらいことを子どもの権利相談室「こころの鈴」に相談したいと思いますか。		問16	あなたは、困ったこと、つらいことを子どもの権利相談室「こころの鈴」に相談したいと思いますか。			問18	あなたは、困ったこと、つらいことを子どもの権利相談室「こころの鈴」に相談したいと思いますか。		
	1 思う →問16へ 2 思わない →問18へ 3 わからない →問18へ			1 思う →問17へ 2 思わない →問19へ 3 わからない →問19へ	・「こころの鈴」に相談したいと思う子どもは、7％で、前回調査の9.6％を下回ったが、大きな差異は見受けられなかった。 ・相談したいと「思わない」子どもの割合が減り、「わからない」と答える子どもの割合が増加した。 ・年齢が上がるにつれて、「こころの鈴」に相談したいと思う子どもの割合は減少する傾向にある。 ・自己肯定感の低い子どもほど悩みを一人で抱え込む傾向にあること（問14）、悩みを相談する子どもは、親や友だちなど身近な存在に相談すること（問14）、こころの鈴の認知度が低いこと（問15）、こころの鈴に相談したいと思う子どもが少ないこと（問16）から、子どもにとって相談しやすい身近な存在として、こころの鈴の一層の周知に努めることが、自己肯定感を高めるにあたって有用である。 ・悩みを誰にも相談しないと答えた子どもであっても、そのうち4％は、こころの鈴に相談したいと思っている。 ・こころの鈴を知らない子どものうち、4.9％は、こころの鈴に相談したいと思っている。	・認知度にとどまらず、利用率の向上を目指す。		1 思う →問19へ 2 思わない →問20へ 3 わからない →問20へ		
問16	「こころの鈴」にどんな方法で相談したいと思いますか。		問17	「こころの鈴」にどんな方法で相談したいと思いますか。			問19	「こころの鈴」にどんな方法で相談したいと思いますか。		
	1 無料(むりょう)の電話で 2 メールで 3 直接(ちよくせつ)相談室(そうだんしつ)で 4 ファクスで 5 その他			1 無料(むりょう)の電話で 2 メールで 3 直接(ちよくせつ)相談室(そうだんしつ)で 4 ファクスで 5 その他	・「こころの鈴」への相談方法は、「無料の電話」を選択した子どもが61％ ・「その他」の相談方法を選択した子どもは、具体的には「手紙」で相談したいと回答した。			1 無料(むりょう)の電話で 2 メールで 3 直接(ちよくせつ)相談室(そうだんしつ)で 4 ファクスで 5 その他		

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H25年度			H27年度			中間報告（検証）		H30年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問17	「こころの鈴」に相談する時に利用したい曜日（ようび）、時間帯（じかんたい）を教えてください。		問18	「こころの鈴」に相談する時に利用したい曜日（ようび）、時間帯（じかんたい）を教えてください。			問20	「こころの鈴」に相談する時に利用したい曜日（ようび）、時間帯（じかんたい）を教えてください。 ※現在は、月～木曜日、土曜日は午後1時～午後6時、金曜日は午後1時～午後8時		
	1 今の曜日と時間でよい （月～木曜日、土曜日は午後1時～午後6時、金曜日は午後1時～午後8時） 2 日曜日に相談したい 3 違う時間に相談したい（具体的（ぐたいてき）に ）			1 今の曜日と時間でよい （月～木曜日、土曜日は午後1時～午後6時、金曜日は午後1時～午後8時） 2 日曜日に相談したい 3 違う時間に相談したい（具体的（ぐたいてき）に ）	・「こころの鈴」の利用日時について、「今のままでよい」と回答した子どもは、69.0％を占めた。			1 今の曜日と時間でよい 2 日曜日に相談したい 3 違う時間に相談したい（具体的（ぐたいてき）に ）		
問18	家庭（かてい）で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。		問19	家庭（かてい）で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。			問21	家庭（かてい）で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。		
	1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない →問20へ 4 そう思わない →問20へ	・「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」と思う子どもの割合は85.1％ ・年齢が上がるにつれて、「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」子どもの割合が減少する傾向がある。 ・自己肯定感の高い子どもは「家庭で、自分の考え等を聞いてもらっている」と考える傾向がある。		1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない →問21へ 4 そう思わない →問21へ	・家庭で自分の考えや思っていることを聞いてもらっているかどうかについて、「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた子どもは、85.4％となり、前回調査の85.1％と大きな差異は見受けられなかった。 ・自己肯定感の高い子どもほど、「家庭で自分の考えや思っていることを聞いてもらっていると思う」と答える傾向にあり、自己肯定感との関係が窺える。			1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない →問23へ 4 そう思わない →問23へ		
問19	聞いてもらった内容は何ですか。（問18で、1、2に○をつけたかたが答えください。） あてはまるものに2つまで○をつけてください。		問20	聞いてもらった内容は何ですか。（問18で、1、2に○をつけたかたが答えください。） あてはまるものに2つまで○をつけてください。			問22	聞いてもらった内容は何ですか。（問21で、1、2に○をつけたかたが答えください。） あてはまるものに2つまで○をつけてください。		
	1 進路（しんろ）・進学先（しんがくさき） 2 塾（じゅく）や習（なら）いごと 3 家族の行事（ぎょうじ） 4 家のルール 5 家の手伝い 6 その他	・聞いてもらっている内容は、「進路・進学先」「塾や習いごと」の順に回答する子どもが多い。		1 進路（しんろ）・進学先（しんがくさき） 2 塾（じゅく）や習（なら）いごと 3 家族の行事（ぎょうじ） 4 家のルール 5 家の手伝い 6 その他	・家庭で聞いてもらったことは、「1 進路・進学先」のことが多く、「2 塾や習いごと」のことが多い。 ・「その他」を選んだ子どもの多くは、「学校での出来事」等、学校生活に関することと記述回答している。 ・小学生が家庭で聞いてもらったことは、「2 塾や習いごと」「1 進路・進学先」の順に多いが、中学生になると「1進路・進学先」「2 塾や習いごと」の順となる。 ・高校生になると、「1 進路・進学先」の割合が半数以上を占める。			1 進路（しんろ）・進学先（しんがくさき） 2 塾（じゅく）や習（なら）いごと 3 家族の行事（ぎょうじ） 4 家のルール 5 家の手伝い 6 その他		
問20	学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。		問21	学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。			問23	学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。		
	1 そう思う 2 だいたい思う 3 あまりそう思わない →問22へ 4 そう思わない →問22へ	・学校の先生に、あなたの考え、思っていることを「聞いてもらっている、だいたい聞いてもらっている」と思う子どもの割合は67.6％ ・自己肯定感の高い子どもは「学校の先生に、自分の考え等を聞いてもらっている」と考える傾向がある。		1 そう思う 2 だいたい思う 3 あまりそう思わない →問23へ 4 そう思わない →問23へ	・学校で先生に、自分の考えや思っていることを聞いてもらっているかどうかについて、「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた子どもは、71.8％で、前回調査の67.6％を上回った。 ・自己肯定感の高い子どもほど、「学校で先生に、自分の考えや思っていることを聞いてもらっていると思う」「だいたいそう思う」と答える傾向にあり、自己肯定感との関係が窺える。			1 そう思う 2 だいたい思う 3 あまりそう思わない →問23へ 4 そう思わない →問23へ		

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H25年度			H27年度			中間報告（検証）	H30年度（案）			
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
問21	聞いてもらった内容は何ですか。 （問20で、1、2に○をつけたか たがお答えください。） あてはまるものに2つまで○をつ けてください。		問22	聞いてもらった内容は何ですか。 （問20で、1、2に○をつけたか たがお答えください。） あてはまるものに2つまで○をつ けてください。			問24	聞いてもらった内容は何ですか。（問 23で、1、2に○をつけたかたがお答 えください。） あてはまるものに2つまで○をつけて ください。		
	1 クラブや部活動(ぶかつどう)（内 容・進め方) 2 児童会(じどうかい)や生徒会(せい とかい)の活動 3 学習の仕方、学校のルール 4 学校の施設(しせつ) 5 文化(ぶんか)祭(さい)や学芸会(が くげいかい)、運動会(うんどうか い)、遠足(えんそく)などの学校行事 (ぎょうじ) 6 その他	・聞いてもらっている内容は、「クラ ブや部活動」「学習の仕方、学校の ルール」「児童会・生徒会活動」の順 に回答する子どもが多い。		1 クラブや部活動(ぶかつどう)（内 容・進め方) 2 児童会(じどうかい)や生徒会(せい とかい)の活動 3 学習の仕方、学校のルール 4 学校の施設(しせつ) 5 文化(ぶんか)祭(さい)や学芸会(が くげいかい)、運動会(うんどうか い)、遠足(えんそく)などの学校行事 (ぎょうじ) 6 その他	・学校で先生に聞いてもらったこと は、「1 クラブや部活動」のこと、 「2 児童会や生徒会の活動」のこと、 「3 学習の仕方、学校のルール」のこ とが多い。 ・「その他」を選んだ子どもの多く は、「進路や成績」「授業」「勉強」 等、将来や勉学に関することと回答し ている。 ・小学生が学校できいてももらったこと は、「2 児童会や生徒会の活動」が最 も多い。 ・中学生になると「1 クラブや部活 動」が最も多くなるが、部活動が本格 化することが理由と推察される。 ・高校生になると、「3 学習の仕方、 学校のルール」と回答する子どもが多 くなる。		1 クラブや部活動(ぶかつどう)（内容・進め 方) 2 児童会(じどうかい)や生徒会(せいとかい) の活動 3 学習の仕方、学校のルール 4 学校の施設(しせつ) 5 文化(ぶんか)祭(さい)や学芸会(がくげい かい)、運動会(うんどうかい)、遠足(えんそ く)などの学校行事(ぎょうじ) 6 その他			
問22	地域(ちいき)で、あなたの考え、 思っていることを聞いてもらって いると思いますか。		問23	地域(ちいき)で、あなたの考え、 思っていることを聞いてもらって いると思いますか。			問25	地域(ちいき)で、あなたの考え、思っ ていることを聞いてもらっていると思 いますか。		
	1 そう思う 2 だいたい思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない	・地域で、あなたの考え、思っている ことを「聞いてもらっている、だいた い聞いてもらっている」と思う子ども の割合は27.5% ・年齢が上がるにつれて、「聞いても らっている、だいたい聞いてもらって いる」子どもの割合が減少する傾向が ある。 ・自己肯定感の高い子どもは「地域 で、自分の考え等を聞いてもらってい る」と考える傾向がある。		1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない →問25 へ 4 そう思わない →問25へ	・地域で、自分の考えや思っているこ とを聞いてもらっているかどうかにつ いて、「そう思う」「だいたいそう思 う」と答えた子どもは、22%で、前 回調査の27.5%を下回ったが、大 きな差異は見受けられなかった。 ・前回調査と同じく、「そう思う」 「だいたいそう思う」と答える子ども は少数となっている。 ・自己肯定感の高い子どもほど、地域 で、自分の考えや思っていることを聞 いてもらっているかどうかについて 「そう思う」「だいたいそう思う」と 答える傾向にある。 ・ただし、自己肯定感の最も高い「自 分のことが好き」な子どもであって も、「そう思う」「だいたいそう思 う」割合は34.5%だった。		1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない →問27へ 4 そう思わない →問27へ			
問23	聞いてもらった内容は何ですか。 （問22で、1、2に○をつけたか たがお答えください。） あてはまるものに2つまで○をつ けてください。		問24	聞いてもらった内容は何ですか。 （問22で、1、2に○をつけたか たがお答えください。） あてはまるものに2つまで○をつ けてください。			問26	聞いてもらった内容は何ですか。（問 25で、1、2に○をつけたかたがお答 えください。） あてはまるものに2つまで○をつけて ください。		
	1 遊びやスポーツができる場所(ば しょ) 2 地域の行事を決めるとき 3 地域のボランティア活動 4 自然(しぜん)環境(かんきょう)を守 ること 5 文化(ぶんか)・芸術(げいじゅつ)の 体験(たいけん)活動(かつどう) 6 その他			1 遊びやスポーツができる場所(ば しょ) 2 地域の行事を決めるとき 3 地域のボランティア活動 4 自然(しぜん)環境(かんきょう)を守 ること 5 文化(ぶんか)・芸術(げいじゅつ)の 体験(たいけん)活動(かつどう) 6 その他	・地域で聞いてもらったことは、「1 遊びやスポーツができる場所」のこ と、「2 地域の行事を決めるとき」の ことが多い。 ・小学生は、「3 地域のボランティア 活動」の占める割合が7.5%と低い が、中学生になると二桁に増加する。 ・地域で聞いてもらった内容は、年齢 ごとに異なることが窺える。		1 遊びやスポーツができる場所(ばしょ) 2 地域の行事を決めるとき 3 地域のボランティア活動 4 自然(しぜん)環境(かんきょう)を守ること 5 文化(ぶんか)・芸術(げいじゅつ)の体験 (たいけん)活動(かつどう) 6 その他			

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H 2 5 年度			H 2 7 年度			中間報告（検証）	H 3 0 年度（案）			
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
			問25	地域の中で、遊んだりスポーツをしたり、安心してやりたいことができる場所がありますか。			問27	地域の中で、遊んだりスポーツをしたり、安心してやりたいことができる場所がありますか。		
				1 ある 2 ない	・地域の中で、安心してやりたいことができる場所が「1 ある」と答えた人は、7 5 . 8 %。 ・「1 ある」と答える子どもの割合は、高校生でも半数以上を占めているが、年齢が上がるにつれて割合は減少している。 ・自己肯定感の高い子どもほど、安心してやりたいとができる場所が「1 ある」と答える傾向にあり、自己肯定感との関係が窺える。			1 ある 2 ない → 問29へ		
							問28	安心してやりたいことができる場所は、どこですか？（問27で、1 に○をつけたかたがお答えください。）	・安心してやりたいことができる具体的な場所をを把握したい。	
			問26	あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。			問29	あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。		
				1 ある 2 ときどきある 3 あまりない 4 ない	・自分の好きなことをする時間が十分に「ある」「ときどきある」と答えた子どもは、全体で8 5 . 6 %。 ・年齢があがるにつれて、「ある」「ときどきある」と答える子どもが占める割合は、減少する。 ・自分のことが好きな子どもの9 0 . 2 %が、「ある」「ときどきある」と回答するのに対して、自分のことが好きではない子どものうち、「ある」「ときどきある」と答える子どもは、7 8 . 3 %にとどまることから、自己肯定感との関係が窺える。			1 ある 2 ときどきある 3 あまりない 4 ない		
			問27	あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。 あてはまるものにいくつでも○をつけてください。			問30	あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。 あてはまるものにいくつでも○をつけてください。		
				1 自分の部屋 2 家族と一緒に過ごす部屋 3 学校 4 保健室 5 中間教室 6 フリースクール 7 クラブ活動・部活動の場所 8 友達の家 9 祖父母や親戚の家 10 児童館・児童センター 11 学童(がくどう)クラブ 12 青少年(せいしょうねん)の居場所(いばしょ) 13 図書館 14 公民館 15 公園 16 山や川など自然のある所 17 塾や習い事、スポーツの教室 18 ゲームセンター、カラオケボックス、まんが喫茶(きっさ) 19 コンビニエンス・ストア、ファストフード、喫茶店(きっさてん)などのお店 20 その他 21 ホッとできる場所はない	・ホッとできる場所として「① 自分の部屋」「② 家族と一緒に過ごす部屋」の順に回答する子どもが多く、家庭での居場所が子どもたちの安定にとって大切なことが窺える。 ・「⑳ ホッとできる場所はない」と回答した子どもは、全体の0 . 5 %にとどまった。 ・自己肯定感の低い子どもほど、「㉑ ない」と答える割合が若干だが、高くなるほか、「②家族と過ごす部屋」と答える割合が減り、「①自分の部屋」を好む割合が高くなっている。		1 自分の部屋など、家で一人でいられる場所 2 リビングなど家で家族といられる場所 3 友達の家、祖父母や親戚の家 4 学校の教室 5 学校の保健室、中間教室、フリースクール 7 クラブ活動・部活動・塾・ピアノ・スポーツなどの習い事の教室 8 児童館・児童センター・学童クラブ 9 図書館、公民館 10 青少年の居場所 11 公園、山や川など自然のある所 12 ゲームセンター、カラオケボックスなどのお店 13 コンビニエンス・ストア、ファストフードなどのお店 14 その他 15 ホッとできる場所はない	選択肢が多いことと、子どもにとって言葉が難しい選択肢があることにより変更したい。		

松本市子どもの権利に関するアンケート（子ども向け）一覧表

H 2 5 年度			H 2 7 年度			中間報告（検証）		H 3 0 年度（案）		
No.	設問内容	結果（考察）	No.	設問内容	結果（考察）	課題	No.	設問内容	変更理由等	備 考
			問30	そのために、やっていることはありますか。 （あてはまるものにいくつでも○をつけてください。）			問33	そのために、やっていることはありますか。 （あてはまるものにいくつでも○をつけてください。）		
				1 学校の勉強をしっかりとやる 2 苦手(にがて)な科目(かもく)の勉強もしっかりとやる 3 学校で習(なら)ったことをもっと調(しら)べてみる 4 興味(きょうみ)のあることを自分で調(しら)べてみる 5 塾や習い事をいっしょうけんめいやる 6 その他 7 特にやっていない	・将来つきたい仕事につくためとして、「学校の勉強をしっかりとやる」「学校で習ったことをもっと調べてみる」と回答した子どもが多く、身近な学校の授業から理解を深めようとしている様子が窺える。			1 学校の勉強をしっかりとやる 2 苦手(にがて)な科目(かもく)の勉強もしっかりとやる 3 学校で習(なら)ったことをもっと調(しら)べてみる 4 興味(きょうみ)のあることを自分で調(しら)べてみる 5 塾や習い事をいっしょうけんめいやる 6 その他 7 特にやっていない		
			問31	大人になって住(す)みたいまちはどこですか。			問34	大人になって住(す)みたいまちはどこですか。		
				1 松本市に住(す)みたい 2 長野県内の別のまちに住(す)みたい 3 長野県外のまちに住(す)みたい 4 わからない	・大人になって住みたいまちとして「松本市」と答えた子どもは、全体の3 0 %だった。 ・年齢が上がるにつれて、「松本市に住みたい」と答える子どもの割合が減少する。対して、「進路が分からないから」等、将来を現実的に考えたり、視野が広がったりすることで、「わからない」と回答する子どもの割合が増加している。			1 松本市に住(す)みたい 2 長野県内の別のまちに住(す)みたい 3 長野県外のまちに住(す)みたい 4 わからない		